

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人 名	新井 利和 先生（おもてなしの達人）	所属	株式会社 ナゴヤキャッスル
実 施 校	安城市立桜井小学校		
実 施 日	平成21年11月20日（金曜日）		
実施学年・学級	6年1組（35人）		
教科等名	道 徳	単元・題材名	やさしさを持って、人と楽しく話をしよう
授業の目標	人と話をするとき、相手を思いやり、やさしさを持って話すことで、より楽しく話ができることを知る。		
授業の実際	1 達人の紹介を聞く。（教師） 2 「おもてなし」とは何か、話を聞く。（達人） ・ 配布資料にもとづき、マナーやおもてなしの話を聞く。 ・ 正しい気を付けの姿勢や礼の練習を立てて行う。 3 お楽しみグループ協議を行う。（教師） ・ 班の代表者が動物カードをひき、班の動物を決める。 ・ 代表者は、その動物になりきり、鳴き声のみで話す。 ・ 代表者が例文を覚え、班員に動物の鳴き声で伝える。 ・ 班員は、何と言っているのか考えて答える。 ・ 2つの班が発表する。 4 達人に質問する。（達人）		
児童生徒の感想	・ ホテルの仕事は、お客様の様子から気持ちを察して行わないといけないので、大変だなと思った。 ・ あいさつをする前に名前を入れると、相手がより喜ぶことが分かった。 ・ これから、うまく話ができない子がいたら、やさしくゆっくり話したい。 ・ ホテルの人は、お客様がどのようにしたら喜んでくれるのかを考えて、いいサービスをするので、とてもやさしいと思った。 ・ マナーやあいさつは、大人になっても大切なことなので続けていきたい。 ・ 言葉づかいで、たまにへんな言葉をつかってしまうので、気を付けたい。 ・ 動物になるゲームが楽しかった。		
教師の感想	児童は、とても真剣に話を聞いていた。話の中で、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことは大切であること、身だしなみや言葉づかいをきちんとすることなど、今の児童にとって大切なことをいろいろ話してくださりありがたかった。この授業を、「大切なことを知った」と振り返っている児童が多かったので、忘れずに心にとめておいてほしい。		